



編集 御同朋の社会をめざす運動
山陰教区委員会
発行 山陰教区 教務所
〒600-0002 松江市大正町四四三ノ一
本願寺山陰教堂
TEL 〇八五二 四七四七
FAX 〇八五二 八三五一
発行所 佐々木 了慎

寺院名物シリーズ④ 江津組・蓮敬寺

蓮敬寺本堂横にある「寺 Café SARA」は、仏教書や絵本を置いた小さなブックカフェです。世代を問わず多くの人にお寺や仏教が身近なものになってほしいという想いで、2015 (平成 27) 年に運営を開始しました。(住職・富金原真慈)

一人ひとりが、発信者

御同朋の社会をめざす運動 山陰教区委員会副委員長 三 明 淨 信

二年半にわたる新型コロナウイルス感染症発生による影響は、世界を大きくゆり動かしています。いづれ収束を迎えることと思えますが、元どおりになるかは予想が付きません。この間を振り返る時、身近においては、さまざまな問題が起こってきまして、一点に絞って記してみたいと思います。

それは葬儀に関連する事柄です。三密を避けるということで、葬儀場等においての人数制限、また、お斎接待の取りやめが余儀なく通常化されました。その中から生じたのが、流れ焼香です。当初は、違和感をいだきながら参列していたのが、いつのまにか普通として受け容れている自分があります。

コロナ禍収束後は、元の姿にもどすことを常に考えておかなければなりません。その方策の一環として、山陰教区では、二〇二二(令和四)年度実践運動教区委員会事業計画を推進するため三部会を設けています。

その一つ伝道広報部会において、「ICT部門(IT・オンライン部門)」を設け、老若男女にかかわらず全ての方が、多様な情報を共有できる場として活用いただくことを目的に取り組むことといたしました。先にふれました葬儀等の仏事では、

既にオンラインを活用し、遠方に居ながら、その場に参列しているような雰囲気、仏縁に遇っていただいています。との声もあります。

オンライン等の活用は、過疎化・高齢化・核家族化等の対策に有効と思われまます。また、寝たきり・入院療養の方々に対して、その場で、仏縁に遇っていたことが可能と思われまます。政府は、日本の高齢化の進んでいる中であって、対策として、オンライン診療の実施に向け取り組みが報道されていきました。

それは自宅に居ながらにして診療が受けられる。また、自宅以外でもデイサービス施設でのオンライン診療を受けることができる方向で検討されているとのことでした。今後、当教区オンライン等推進にあたっては、数箇所を拠点(核)として、近い将来には、全寺院に普及し、以て念仏の声が隅々にゆきわたり、情報発信によって共存共有できるところを目指しています。

オンライン等活用は、あくまでも「全員聞法・全員伝道」に向けての一方策だということを記しておきます。

(伝道広報部会「ICT部門(IT・オンライン部門)」調査。二頁をご参照ください。)

フードバンク活動報告

(七月二十日現在)

ご協力いただいた個人・団体の方

一七〇(延べ数)

届けていただいた食料品や日用品の数

一三八〇

- お米 約四三〇キロ
- お菓子 約五一〇食
- インスタント食品 約五五〇食
- 缶詰 約一三〇個
- 調味料 約一七〇個
- 飲料水 約二三〇本

オンライン会議システム利用状況アンケート集計報告

実践運動教区委員会等において、コロナ禍における伝達方法としてオンライン会議システムを活用すべきとの意見を多く頂戴しております。また、山陰教区は広域な教区であることから、オンライン会議システムの普及促進によって、新たな伝道教化施策の一方策として、さらに、出席者の負担低減や教区財政の節約も期待できるとの意見もあがっております。

そこで、教区実践運動において重

点的に取り組むべく体制を整えるため、伝道広報部会において、「ICT部門（IT・オンライン部門）」を設置しました。まずは、教区内のインターネット利用状況（利用形態、接続環境、利用端末など）の実態を把握するため、教区内全寺院を対象としたアンケート調査を実施しました。各組長に取りまとめのご協力をいただき、教務所で集約。その後、ICT部門において、結果を精査・分析しました。

今後、まずは教区内にサテライト会場の拠点としてご協力いただける寺院の設置など、オンライン会議システムの普及・促進を図るための活動を進める予定です。

その他日用品（洗剤・タオル等）お届けした場所

【鳥取県】

鳥取県庁、中部総合事務所、西部総合事務所

【島根県】

県内八市の社会福祉協議会

安来市 二回、松江市 六回、出雲市 六回、雲南市 三回、大田市 二回、江津市 二回、浜田市 一回、益田市 一回

また、五月十八日開催の仏教婦人会連盟総会

で実施したフードバンク活動の様子が、山陰中央新報で紹介されました。(五月二十七日)

「もったいない」を「ありがたい」へ、今後もフードバンク活動にご協力をお願いいたします。

山陰教区

オンライン会議システム利用状況アンケート集計報告

山陰教区寺院数：408
アンケート回答数：241
回答率：59.1%

設問	回答	回答数	寺院数割合	回答数割合
1 ご自坊でオンライン会議システムに接続できますか？	できる	140	34.3%	58.1%
	できない	76	18.6%	31.5%
	わからない	24	5.9%	10.0%
【設問1で「できる」と回答された方】				
2 ご自坊でオンライン会議システムに接続できる場所をお教えてください。 ※ 複数回答可	本堂	56	13.7%	23.2%
	庫裏	102	25.0%	42.3%
	門徒会館	10	2.5%	4.1%
	寺務所	22	5.4%	9.1%
	自室	76	18.6%	31.5%
その他	0			
3 ご自坊でオンライン会議システムに接続できる機器をお教えてください。 ※ 複数回答可	パソコン	119	29.2%	49.4%
	タブレット	43	10.5%	17.8%
	スマートフォン	88	21.6%	36.5%
	その他	0		
4 オンライン会議システム接続時、複数の人数で視聴できる機器がありましたら、お教えてください。 ※ 複数回答可	プロジェクターとスクリーン	37	9.1%	15.4%
	テレビモニター	37	9.1%	15.4%
	その他(デスクトップパソコン)	1	0.2%	0.4%
	会議用マイクスピーカー	19	4.7%	7.9%
5 その他お持ちの機器をお教えてください。 ※ 複数回答可	ウェブカメラ	32	7.8%	13.3%
	ヘッドセット	24	5.9%	10.0%
	無線ルーター	92	22.5%	38.2%
	その他	1	0.2%	0.4%
その他の回答	カメラ・照明・分配器・配信用マイク	1	0.2%	0.4%
	マイク・スピーカー・カラオケシステム	1	0.2%	0.4%
	顔付カメラ・無線LANチャット	1	0.2%	0.4%
		1	0.2%	0.4%
【設問1で「できない」と回答された方】 ※ 「わからない」も含む				
今後、ご自坊でオンライン会議システムの環境を整えるご予定はありますか？	ある	20	4.9%	8.3%
	ない	70	17.2%	29.0%



仏教連盟総会(松江テルサ)で、仏教委員長・副委員長から松江市社会福祉協議会へお渡ししました。

二〇二二（令和四）年度 御同朋の社会をめざす運動（実践運動） 山陰教区委員会（総会）報告

1. 日 時 二〇二二（令和四）年
六月十七日（金）
十三時三十分～十五
時三十五分

六月十七日（金）

十三時三十分～十五
時三十五分

2. 会 場 本願寺山陰教堂
教化センター 研修室

教化センター 研修室

3. 出席者 委員二十九名
※欠席者九名

※欠席者九名

4. 協議事項

(1) 役職者選出・担当者会承認
について

①正・副委員長選出

委員長 佐々木了慎 教務所長

副委員長 月洞昇道 委員

副委員長 三明淨信 委員

②中央委員会委員（教区代表）
選出

中央委員会委員 波北 顕 委員

③部会・部員選定

各部会・部員 ※名簿参照

④正・副部長選出

（同朋・社会部会）

部 長 朝枝 成 委員

副部長 菅原 憲 委員

（寺院活動支援部会）

部 長 高津眞悟 委員

副部長 武田正文 委員

（伝道・広報部会）

部 長 松林 茂 委員

副部長 柳樂由乘 委員

⑤常任委員選出

常任委員 ※名簿参照

⑥担当者会承認

各担当者 ※名簿参照

(2) 部会協議

各部会において、令和四年度事
業計画等について協議

(3) 全体会

各部会の協議内容について報告

（同朋・社会部会）

同朋社会研修会を六月二十八
日（火）に出雲市民会館にて
開催。

「フードバンク活動」を継続
して実施する。

・部落解放島根県講座への参加
と、各組、教化団体等に対し、
冊子「み教えと差別の現実」
を活用した研修会の実施を奨
励する。

・千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要「平
和の鐘」の実施を奨励する。

（寺院活動支援部会）

・連研について、例年を踏襲し
た形で継続する。

・子ども・若者ご縁づくりの推
進について、寺院子弟との繋
がりを中心に研修会等を実施
する。

・ご縁まち交流について、過疎
対策を含め今後協議を重ね
る。

（伝道・広報部会）

・僧侶研修会について、山陰教
堂を主会場としオンライン配
信を行い、サテライト会場を
設ける予定。（会場は東西二ヶ
寺）

・山陰妙好人カレンダーの発行
に向け、担当者会で協議を進
める。

・勤式練習所は、「親鸞聖人御
誕生八五〇年・立教開宗
八〇〇年慶讃法要」をお迎え
するにあたり制定された「新
制 御本典作法」を中心に講
義を行う。

・教区報「山陰」について、今
年度三回発行し、フルカラー
とする。

・オンライン会議システム利用
状況アンケートの精査・分析

を踏まえ、配信に関する事項
について、協議を進める。

(4) その他（事務局報告）

・ロシア連邦によるウクライナ
侵攻に対する総長声明、及び
ロシア軍のウクライナ侵攻を
非難し、戦争の早期終結を願
う宗会決議について

・「ウクライナ緊急支援募金」
の募集案内

・「過去帳又はこれに類する帳
簿の取り扱い基準」の徹底に
ついてのお願い

・オンライン会議システム利用
状況アンケート集計報告



「御同朋の社会をめざす運動」山陰教区委員会委員名簿(部会別)

任期:2022(令和4)年4月1日~2024(令和6)年3月31日

No.	組名	寺院名	実践運動委員	期数	役職・部会	備考
1	山陰教区教務所		佐々木了慎 ※	一	委員長	教務所長
2	三 隅	禮光寺	月洞 昇道 ※	2期	副委員長	教区会議長
3	大田西	照善坊	三明 淨信 ※	2期	副委員長	組長会長
4	浜 田	金藏寺	朝枝 成 ※	2期	同朋・社会部会部長	組選出者
5	大田東	正藏坊	菅原 憲	2期	同朋・社会部会副部長	組選出者
6	松 江	本誓寺	澤田 暉夫	2期	同朋・社会部会	教区副議長
7	松 江	眞光寺	吉田 史章 ※	2期	同朋・社会部会	組長副会長
8	江 津	西教寺	三谷 卓良	4期	同朋・社会部会	ビハーク山陰
9	川 本	法隆寺	岩 義博	2期	同朋・社会部会	組選出者
10	千須賀	眞淨寺	毛利 孔晶	3期	同朋・社会部会	組選出者
11	邑智西	善教寺	服部 法子	4期	同朋・社会部会	組選出者
12	三 隅	淨蓮寺	早川 寛之	2期	同朋・社会部会	組選出者
13	益 田	安養寺	山鳥 一道	2期	同朋・社会部会	組選出者
14	鹿 足	正法寺	須山 成顕	4期	同朋・社会部会	組選出者
15	大田中	淨福寺	高津 眞悟 ※	2期	寺院活動支援部会部長	組選出者
16	邑智東	高善寺	武田 正文	3期	寺院活動支援部会副部長	仏教青年連盟/子ども・若者ご縁づくり
17	鹿 足	圓教寺	橋本 正嗣 ※	1期	寺院活動支援部会	門徒総代会
18	松 江	明宗寺	福原 一字 ※	3期	寺院活動支援部会	門徒推進員
19	出 雲	専立寺	矢野ゆう子 ※	2期	寺院活動支援部会	仏教婦人会連盟
20	松 江	勝願寺	舟谷 法子	2期	寺院活動支援部会	保育連盟
21	江 津	光善寺	波北 顕 ※	5期	寺院活動支援部会 中央委員	少年連盟
22	鳥取因幡	淨徳寺	小畑 厚 ※	1期	寺院活動支援部会	仏教壮年会連盟
23	出 雲	源光寺	西谷 京子 ※	2期	寺院活動支援部会	寺族婦人会連盟
24	三 隅	淨圓寺	田中 宣隆	2期	寺院活動支援部会	過疎対応支援員
25	出雲南	善徳寺	楠 縁人	2期	寺院活動支援部会	組選出者
26	飯 南	眞向寺	吉川 光城	1期	寺院活動支援部会	組選出者
27	佐 波	浄土寺	西原 眞公	5期	寺院活動支援部会	組選出者
28	川 本	福泉寺	松林 茂 ※	5期	伝道・広報部会部長	教区会議員
29	出 雲	龍善寺	柳樂 由乗	4期	伝道・広報部会副部長	組選出者
30	邑智東	眞清寺	瑞光 倫浩	2期	伝道・広報部会	布教団
31	三 隅	妙蓮寺	小原 静伍	3期	伝道・広報部会	勤式指導員
32	鳥取因幡	願正寺	衣笠 告也	2期	伝道・広報部会	組選出者
33	鳥取伯耆	眞光寺	藤谷 顕正	2期	伝道・広報部会	組選出者
34	松 江	西宗寺	高野 睦	2期	伝道・広報部会	組選出者
35	神 門	西圓寺	佐々木弘信	2期	伝道・広報部会	組選出者
36	大田西	瑞泉寺	三明 慶輝	2期	伝道・広報部会	組選出者
37	邑智東	西林坊	澤田 誠之	2期	伝道・広報部会	組選出者
38	江 津	浄光寺	能美 顕之	2期	伝道・広報部会	組選出者

※ 印は常任委員会委員

「御同朋の社会をめざす運動」山陰教区委員会 担当者名簿

任期:2022(令和4)年4月1日~2024(令和6)年3月31日

所掌部会	担当名	担当者				
同朋・社会部会	同朋社会研修会担当	朝枝 成 (担当長)	菅原 憲 (副担当長)	澤田 暉夫	吉田 史章	三谷 卓良
		岩 義博	毛利 孔晶	服部 法子	早川 寛之	山鳥 一道
		須山 成顕				
寺院活動支援部会	連研担当	吉川光城 (担当長)	金盛麻衣子 (副担当長)	福原 一字	市野 覚生	
	子ども・若者ご縁づくり担当	武田正文 (担当長)	西原 眞公	唐溪 悦子	朋澤 融智	
	ご縁まち交流担当	楠 縁人 (担当長)	西原眞公 (副担当長)	田中 宣隆		
伝道・広報部会	カレンダー担当	梅田淳敬 (担当長)	衣笠告也 (副担当長)	大草 顕信	菅原 昭生	菅 和順
	教区報担当	瑞光倫浩 (担当長)	上杉信成 (副担当長)	柳樂 由乗	鈴木 二郎	菅原 敦樹
		岡本 一代	岡崎 正興			
	僧侶研修会担当	松林 茂 (担当長)	柳樂由乗 (副担当長)	瑞光 倫浩	衣笠 告也	藤谷 顕正
		高野 睦	佐々木弘信	三明 慶輝	澤田 誠之	能美 顕之
勤式担当	小原静伍 (担当長)	山崎崇峰 (副担当長)	藤野 敬信	佐々木かおり	朋澤 融智	



このたびは二〇二二(令和四)年三月十五日に、青年布教使大会及び青年布教使研修会を本願寺山陰教堂を会場に開催させていただきました。

青年布教使大会・青年布教使研修会

三隅組 明顯寺 佐々木かおり

お招きいたしました。布教大会では、実演者は本堂にてカメラの前でたった一人で布教し、その他の参加者はセンター研修室に設置したモニターでお聴聞していただくという、新しいやり方を用いました。私も実演者の一人であり、反応がまったくわからない状況での布教は、大変怖いものであり孤独なものでした。

研修会では、センター研修室に講師自ら設置していただいた配信システムを使いながら、配信する場合の注意点、オンライン布教で布教する側として気をつけなければならぬこと、オンラインでできる工夫、配信時の機材についてなどを、布教使として活躍されている講師が自らの経験を交え講演くださいました。

その中で特に心に残ったのは、「オンライン布教は代替案ではあるが、相手によっては選択肢の出現である」というお言葉です。それまで体が不自由だったりご縁がなかったり、仏教に興味を持ちながらもお寺に参ることができなかった方にとつ

ては、自宅でそのご縁に遇うことができます。布教使の持つ、阿弥陀さまのみ教えを伝えるという目標に合致したものです。

オンライン布教というのは未経験の布教使も多く、抵抗感を持つ布教使も多くおられます。自分も含めた、戸惑いの中にある布教使の最初のハードルを少しでも下げることができたらとの思いで開催させていただきました。

コロナ禍以降、布教の現場は激変しました。しかし、それぞれの得手不得手はありますが、布教させていただく手段が増えたことでもできることも増えました。今後も健やかに布教しお聴聞させていただきたいと思えます。

二期四年勤めさせていただいた青年代表の最後の年に、実りある研修会を開催させていただきました。ありがとうございました。



近 御本山用達
株式会社 **川勝法衣店**

0120-075-055
〒600-8344 京都市下京区花屋町通油小路東入
TEL.075-371-0367(代)
FAX.075-371-5088

印刷と出版でできること。
編集・デザイン・印刷・出版のプロとして
様々なソリューションを提供する。
人と向き合い、地域と向き合い一緒になってつくること。
それが私たちにできる、地域貢献のカチガだと考えています。

お客様の良き相談相手になることを目指します
株式会社谷口印刷
HARVEST ハーベスト出版



二〇二二（令和四）年度 仏教婦人会連盟総会・研修会

期 日 二〇二二（令和四）年
五月十八日（水）
会 場 松江勤労者総合福祉セン
ター 松江テルサ
参加者 九十九名

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で二年続けて中止となった総会・研修会を、三年振りに開催することができました。参加人数を制限し、日程も縮小しての開催となりましたが、久しぶりの開催に、参加された方から喜びの声をいただきました。

総会では、中止となった年度の決算や事業について改めて承認をいただき、前年度事業報告・決算報告並びに今年度事業計画案・予算案についてご審議いただきました。

研修会では、仏婦総連盟講師の中川清昭先生（福岡教区 御笠組 願應寺）から、「み仏の願いにかなう生き方をめざします」と題し、平成三十年に改訂された仏教婦人会綱領に込められた願いについてお話をいただきました。



中・四国ブロック寺族野球大会に 参加して

邑智西組 光西寺 石橋直人

五月十七日に中・四国ブロック寺族野球大会が備後教区担当のもと、広島県尾道市のびんご運動公園内のしまなみ球場で行われました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一昨年と昨年は行われず、三年ぶりの大会となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大の

わが山陰教区寺族野球部は四州教区寺族野球部との合同チームとして参加し、備後教区の備龍会チーム、山口教区の長州チームと試合をしました。
結果は備龍会チームには敗れ、長州チームには勝利することができ一勝一敗で四チーム参加の中、三位でした。

日ごろの練習不足や準備不足もあり、体が思うように動かず、それにより思うようなプレイができなかったものの、三年ぶりに中・四国ブロックの試合ができたことや久々に野球場のグラウンドに足を踏み入れることができたことに大変な感謝と喜びを感じました。

コロナ禍においてさまざまな行事が中止または延期、変更しての開催が多い中、このたびの寺族野球の開催にあたり、担当の備後教区や備龍会さま、その他関係者の皆さま方は多大なる尽力をされたことと思います。感謝です。





二〇二二(令和四)年度布教団総会・研修会

大田中組 浄土寺 大原 浩市

二〇二二(令和四)年四月二十二日(金)、山陰教堂にて、二〇二二(令和四)年度「布教団総会・研修会」が、三十三名の参集のもと開催されました。

総会におきましては、北島清秀副団長が議長を務められ、昨年度の事

業と決算報告・役員改選・今年度の事業計画と予算が承認されました。

総会の前に研修会が開かれ、このたびは浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員の田中真師を講師に迎え『浄土真宗のみ教え』についてと題して縁をいただきました。

はじめに、昨年の「立教開宗記念法要・春の法要」において、ご門主さまがお示しになられたご親教を、段落ごとにあらためて拝読し、中でも親鸞聖人の生き方に学び、ご法義がわかりやすく伝わるようお示しくださった「浄土真宗のみ教え」を、一行ずつ丁寧な味あわせていただきました。

思い返してみますと、一九五八年には「浄土真宗の生活信条」、一九六七年と二〇〇八年には「浄土真宗の教章」、近年におきましても、二〇一六年には「念仏者の生き方」、二〇一八年には「私たちのちかい」、そしてこのたびの「浄土真宗のみ教え」と、時代や世の中の状況にしっかりと目を向けられ、導いてくださるご門主さまのお言葉に我が身を知ら

らされます。

考えてみますと私は、体裁ばかりを気にして生きているように思えます。手紙などにおいても難しい言葉を並べ立て、あたかも「私は知っているんだぞ!」と言わんばかりに恰好をつけ一方的に伝えるばかり、思いが伝わるということを忘れていているように思います。大切な布教の場でも同じです。

すぐに横道にそれて迷いが多し私をご心配され、歴代のご門主さま方はたくさんのお言葉を届けてくださいました。

私たち僧侶は、門信徒の方々よりみ教えを味わうご縁に多く恵まれて

います。

だからこそ、いただいたご縁を大切にし、たくさんの方々にはわかりやすく「伝わる」ご法話に努めなければならぬと、念仏者としての生き方を示してくださいるご門主さまのお言葉に、あらためて励まされた研修会でした。

合掌



山陰教区布教団役員名簿

任期：2022(令和4)年4月1日～2024(令和6)年3月31日

役職	組名	寺院名	氏名
団長	山陰教区教務所		佐々木 了慎
副団長	神門組	乗光寺	北島 清秀
副団長(代表委員)	大田西組	願林寺	窪田 英俊
副団長	邑智東組	眞清寺	瑞光 倫浩
委員	鳥取伯耆組	妙寂寺	兜坂 彰英
委員	飯南組	西正寺	佐和田 裕
委員	大田中組	長泉寺	中村 英晴
委員	佐波組	浄土寺	西原 真公
委員	三隅組	禮光寺	月洞 昇道
委員	浜田組	正念寺	藤澤 行治
女性代表	三隅組	明顯寺	佐々木 かおり
青年代表	邑智東組	西福寺	小笠原 宣隆
監事	出雲組	覚専寺	佐々木 俊教
監事	浜田組	清岸寺	服部 浩明
幹事	山陰教区教務所		黒河 敬生

二〇二二(令和四)年度 勤式練習所

五月二十七日(金)、山陰教堂教化センター研修室にて、今年度「山陰教区勤式練習所」の第一回講義を開催しました。

開所式に引き続き、「仏具の法式故実」について、小笠原弘之師(大田中組玉泉寺)から講義をいただきました。香炉、花瓶、灯籠など、各ご寺院で普段から馴染みのある仏具について、それぞれの発生由来や本願寺での由来など、資料をもとに丁寧に説明いただきました。

今年度の勤式練習所は、計五回の講義を開催します。来年、本山で厳修される「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」、そして、十月三日に厳修する山陰教区・山陰教堂のお待ち受け法要に向け、「新制 御本典作法」について学ぶ講義を中心にを行います。お申し込みは随時受け付けておりますので、教務所までご連絡ください。



二〇二二(令和四)年度 公聴会

六月三日(金)と六月六日(月)、宗務所と山陰教堂をオンライン会議システムで接続し、公聴会が開催されました。

今年度の公聴会は、教区開催日に基本会場(山陰教堂)で参加、教区開催日にWeb参加(視聴のみ)、期間限定で配信される動画の視聴と、複数の参加方法が設定されました。

まず、宗派で取り組みが進められている「新たにめざす持続可能な宗務組織を構築するための具体策」について、説明がありました。続いて、二〇二四(令和六)年四月からの賦課基準の見直し案を総局として慎重に検討するにあたり、宗門財政構想委員会から提出された「賦課基準の見直しについて(第二次答申)」の説明がありました。それぞれの説明に対し、教堂にて参加された方から、積極的にご質問・ご提言をいただきました。

千鳥ヶ淵全戦没者 追悼法要

「平和の鐘」 実施にご協力を

期日 二〇二二(令和四)年
九月十八日(日)

〈平和の鐘実施時間〉

午後一時十五分～一時二十分

戦争によって尊いいのちを失われたすべての方がたを追悼し、悲惨な戦争を再び繰り返してはならないという平和への決意を確認するため、今年で四十二回目となる「千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」が国立・千鳥ヶ淵戦没者墓苑において勤修されます。

また、法要にあわせ、恒久平和への願いを新たにするため、「平和の鐘」が撞かれます。

同日、同時刻に各寺院でも梵鐘(または喚鐘など)をお撞きいただき、千鳥ヶ淵戦没者墓苑から発信する平和への願いを全国にひろげる「平和の鐘」の取り組みにご協力をお願いいたします。

※詳細は、本願寺ホームページをご参照ください。

伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店
寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品

株式会社
古田た佛具製作所

〒600-8328 京都市下京区正面通西洞院東入ル蛭子水町609
TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836
フリーダイヤル 0120-178-413
フリーファックス 0120-343-036



携行本尊専用レーザーケース
(化粧箱入)
¥ 11,000 (税込)

品質: 本羊・印傳(藤柄)
カラー: (1) 薄青/紺青 (2) 鼠/黒
(3) 藤/焦茶
サイズ: 折り畳み時 7.1×11.3×1.6 cm
使用時 7.1×12.0×11.0 cm
(奥行) (高さ)

*携行本尊(絵像)は御本山本願寺免物です



井筒法衣店

〒600-8468
京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)
Tel 075-351-1234 Fax 075-341-7905
☎ 0120-075-720

オンラインショップを開設しました



二〇二二(令和四)年度 仏教壮年会連盟総会・研修会

二〇二二(令和四)年六月四日
(土)、山陰教堂教化センター研修室にて山陰教区仏教壮年会連盟総会・研修会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、参加人数を制限し、日程を半日とし、感染症対策を講じて開催しました。

はじめに総会を行い、前年度の事業・決算報告が承認され、続いて本年度事業計画・予算案ともに承認されました。

研修会の講師は、出雲南組善徳寺仏教壮年会会長であり、気象防災アドバイザーの堀江安男氏。「大雨災害と命を守る行動」というテーマで講義をいただきました。

今年度の仏教壮年会連盟活動方針・事業計画の重点目標の「(五)災害に対する意識啓発を行い、被災地・被災者への継続的支援活動を実施する。」という項目を踏まえ、近年日本中で大雨による災害が多発しており、昨年七月に山陰でも大雨による災害があったことを受け、梅雨入り前に正しい知識を備えておくことを目的とした講義でした。



気象庁のウェブサイトに掲載されている天気予報の見方や、局地的豪雨が発生する原因の解説、昨年の七月十二日に島根で起こった豪雨災害を例に、局地的豪雨から冠水に至るまでの経過などをご説明いただきました。

災害時には、「まだ大丈夫」、「今まで問題なかったから今回も大丈夫」という勝手な思い込みをして避難が遅れる原因となるとのこと。参加者一人ひとりが「自分は大丈夫」という思い込みを囚われず、防災意識をより一層向上させることができた研修会でした。

第四連区布教使研修会に参加して

三隅組 西方寺 河野慈演

六月三十日(木)に、第四連区布教使研修会が山陰教区担当のもと、他教区においては各教務所からオンライン参加にて開催されました。開催にあたりご尽力いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。

私は今回、布教団入団後初めて本研修会に参加させていただきました。

当日は最初に同朋研修として、布教団連合同朋研修講師の麻田秀潤師から、「み教えと差別の現実」と題し、「差別表現① 施陀羅」についてご講義いただきました。

施陀羅を始めとする経典における差別表現は、現代において決して人に向けて使って良い言葉ではありません。しかしその言葉が経典の中で本来どう説かれてきたのかという背景を知り、その言葉を本願のうえでどういただくのが、布教においてとても大切であることを学びました。

その後の研修では、築地本願寺宗務長の安永雄玄師から、本研修会のテーマである、「伝える伝道」から『伝わる伝道』へ』について、築地

本願寺でのさまざまな取り組みを踏まえてご講義いただきました。

ご講義の中で、先生ご自身が銀行員を経てご覧になられた寺院の実態についてのお話もあり、伝道ということは話すことだけでなく、さまざまな切り口や視点を持つことの重要性を学びました。もっと広い視野を持つことで、「伝える伝道」から「伝わる伝道」への取り組み方の可能性が広がっていくのだと感じました。

また、ご講義の中で、先生が宗務長に就任されて寺全体が見えやすいように、築地本願寺境内の樹木を伐り、景観から変えていくことで寺の印象が変わっていくことを紹介されました。私も少しずつではありますが、身近にできることから始めていくことの大切さを教えていただいた研修会でした。



2021(令和3)年度 山陰教区一般会計歳計決算

自2021年4月1日 至2022年3月31日

【歳入】

款 項	2021年度決算額	2021年度予算額	対比△減
1 教区賦課金	34,828,425	34,900,000	△ 71,575
1 本年度賦課金	34,828,425	34,900,000	△ 71,575
2 過年度賦課金	0	0	0
2 宗派助成金	10,066,100	10,020,000	46,100
1 宗派助成金	10,066,100	10,020,000	46,100
3 願記手数料	1,687,000	1,700,000	△ 13,000
1 願記手数料	1,687,000	1,700,000	△ 13,000
4 回 金	670,000	670,000	0
1 回 金	670,000	670,000	0
5 雑 収 入	1,683,544	1,400,741	282,803
1 雑 収 入	1,683,544	1,400,741	282,803
6 前年度繰越金	10,609,259	10,609,259	0
1 前年度繰越金	10,609,259	10,609,259	0
歳入合計	59,544,328	59,300,000	244,328

【歳出】

款 項 目	2021年度決算額	2021年度予算額	対比 ※ 超過
1 教区事業費	9,923,008	10,840,000	916,992
1 総合教化企画費	1,180,649	1,500,000	319,351
1 御同朋の社会をめざす運動推進費	1,180,649	1,500,000	319,351
2 教化費	2,763,729	3,520,000	756,271
1 寺院機能振興費	282,584	600,000	317,416
2 婦人青少年費	736,000	910,000	174,000
3 総代・壮年費	290,000	290,000	0
4 研修費	455,434	600,000	144,566
5 矯正福祉費	200,000	270,000	70,000
6 文書伝道費	796,031	800,000	3,969
7 教化活動費	3,680	50,000	46,320
3 助成費	4,717,021	4,720,000	2,979
1 布教団助成金	280,000	280,000	0
2 各種団体助成金	330,000	330,000	0
3 地方教化助成費	4,107,021	4,110,000	2,979
4 災害対策費	1,261,609	1,100,000	※161,609
1 災害活動費	1,261,609	1,100,000	※161,609
2 会議費	989,613	1,450,000	460,387
1 会議費	989,613	1,450,000	460,387
1 教区会議費	712,572	900,000	187,428
2 組長会費	267,241	400,000	132,759
3 各種会議費	9,800	100,000	90,200
4 職員会議費	0	50,000	50,000
3 教務所費	20,807,705	22,160,000	1,352,295
1 人件費	17,669,077	18,030,000	360,923
1 教務所職員俸給	11,151,000	11,200,000	49,000
2 賞与	2,167,875	2,170,000	2,125
3 退職交付金	0	10,000	10,000

【歳出】

款 項 目	2021年度決算額	2021年度予算額	対比 ※ 超過
4 福祉費	2,342,602	2,500,000	157,398
5 諸手当	1,957,600	2,100,000	142,400
6 教区勤式指導員事務費	50,000	50,000	0
2 事務費	2,690,868	3,250,000	559,132
1 通信印刷費	1,180,012	1,400,000	219,988
2 事務消耗品費	464,119	600,000	135,881
3 事務諸費	810,237	1,000,000	189,763
4 備品費	236,500	250,000	13,500
3 旅費	164,657	400,000	235,343
1 交通費	164,657	400,000	235,343
4 諸費	283,103	480,000	196,897
1 慶弔供奠費	149,000	150,000	1,000
2 接待費	4,730	30,000	25,270
3 渉外費	0	100,000	100,000
4 雑費	129,373	200,000	70,627
4 回金	12,181,426	12,250,000	68,574
1 回金	12,181,426	12,250,000	68,574
1 山陰教堂運営費	10,231,426	10,300,000	68,574
2 災害対策費	700,000	700,000	0
3 退職積立金	1,000,000	1,000,000	0
4 子ども・若者推進事業費	50,000	50,000	0
5 「各種法要」積立金	0	0	0
6 平衡資金	0	0	0
7 慶讃法要費	200,000	200,000	0
5 宗会議員選挙費	102,021	200,000	97,979
1 宗会議員選挙費	102,021	200,000	97,979
1 宗会議員選挙費	102,021	200,000	97,979
6 予備費	(161,609)	12,400,000	(12,238,391)
1 予備費	(161,609)	12,400,000	(12,238,391)
歳出合計	44,003,773	59,300,000	15,296,227

歳入合計	59,544,328
歳出合計	44,003,773
差引残高	15,540,555



「小さな一歩を丁寧に」

松江組 実践運動委員 高野宗睦

松江組は、安来・松江の二市に十二ヶ寺、仁多郡一ヶ寺、隠岐郡に住職不在寺院三ヶ寺を含めた五ヶ寺の十八ヶ寺で構成されています。

少子高齢化、過疎化に歯止めがかからない事情は、他地域と変わらないう状況です。それぞれの地域特性や環境状況が大きく異なる中、「日常の寺院活動―寺院機能の活性化に向けて、私たちができることからはじめよう―」を組の重点目標に掲げ、各寺が目標達成のための具体策を掲げ（目標設定）、それをどのように展開し（実施）、その結果はどうであったか（検証）、今後どのような対策を講じて行くのかを公表し、組内での情報交換、情報共有を通して各々の取り組みを地道に重ねています。

自他共に心豊かに生きることできる社会をめざし展開してきた「実践運動」も十年。折しも、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の猛威に、膝を交えながら連綿と続いてきたご法義相続の有り様が、今は「三密を避けて」と言われ、

多くのことが立ち行かなくなりまして。ご法事に親類縁者が集えず、お子さんやお孫さんを伴つての参拝も少なくなってきました。葬儀においても、「流れ焼香」なる作法が取り入れられ、益々み教えを伝える場やご縁が失われています。

しかしこのような中なればこそ、「なんとかしなければ」と危機感をもつて住職が、寺族が、ご門徒がともに向き合い、話し合い、「できない」からの新たな「一歩」を踏み出す契機となります。試行錯誤の中、「従来の難しい言葉による掲示伝道を、よりやさしく親しみが持てる言葉に」「お寺のホームページの発信をこまめに」「文書発送時に一言書き添える」「子ども食堂開催」「フードバンク提供」など、それぞれの課題に向き合った一歩を重ねています。ある教化団体の大会開催を機に、「門徒同士の団結力が強まった」と喜ばしい声も聞こえてきております。

今後、組内寺院の相互の情報交換を密にしつつ「できることを、できることから」。小さな一歩を改

めて丁寧に。門信徒であるなしにかかわらず、「みんなの拠りどころ、心の拠りどころ」となるようなお寺をめざし、with コロナ、アフターコロナの取り組みとともに進めていきたいと思えます。



つゆき 職員

教務所に勤務し早一年。できることと体重が増えていった一年間でした。

毎日が新しい経験であり、多くの方々のご指導により、さまざまなことを学べました。この場をお借りし御礼申しあげます。皆さまありがとうございます。

ただ非常に残念だったことは、新型コロナウイルス感染症の収束の目途が立たず、研修会などの行

事の一部が延期・中止になったことです。過去の資料を見れば、どういった内容であったかは概ね理解できます。しかし実際に体験しなければ学べないこともあります。そういった経験があまりできていないのが残念で仕方ありません。収束を切に願うばかりです。

まだまだ至らぬことが多い私ですが、日々学び、活かせるように頑張っていますので、皆さま応援よろしく願います。

ダイエットの：(K・R)

ご本山への団体参拝は弊社へご用命をよろしくお願い致します。

JTB 感動のそばに、いつも。

株式会社 **JTB 山陰支店**

〒690-0003
 松江市朝日町477-17 松江SUNビル7階
 TEL 0852-23-6720
 FAX 0852-23-7739
 営業時間：9:30～17:30 (土・日・祝日休業)

**山陰教区・本願寺山陰
教堂「親鸞聖人御誕生
八五〇年・立教開宗八
〇〇年慶讃法要」につ
いて(お知らせ)**

二〇二三(令和五)年、「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」をお迎えするにあたり、二〇二二(令和四)年十月三日(月)、出雲市民会館大ホールにて、山陰教区・本願寺山陰教堂における慶讃法要を修行いたします。

法要は「新制御本典作法」の依用作法をお勤めします。結衆として各組お一人ずつの出勤をお願いし、また、雅龍会の皆さまには奏楽員として出仕をお願いいたします。

また、記念布教は特命布教使の服部法紹師(安芸教区安芸南組登照寺)、協賛行事では「法話と落語」をテーマに釋徹宗師(相愛大学学長)と月亭方正氏(落語家)にご講演をいただきます。

なお、法要へのご参拝については、各組毎に参拝人数を定め、各組長さまにお取りまとめをお願いする予定です。

※掲載内容は、七月三十日現在の情報です。

新型コロナウイルス感染症拡大で一年延期となっておりましたが、四月二十四日に「香寶寺門信徒総追悼法要」を無事に勤修いたしました。

この法要は、香寶寺の伝統ある法要で、歴代の住職が一度はご門主さまをお迎えし勤修して参りました。このたびは即如前門さまにご巡教賜り、「総追悼法要」を勤めていただきました。

前任職の代では勝如前々門さまをお迎えし、昭和六十年に勤めました。

平成十八年に香寶寺長期計画を立て、ご門徒の皆さまから

懇志を賜り、それをもとに内陣及び塀の修復、駐車場整備などの記念事業、前後期の法要を企画し、前期法要として平成二十二年十月三十日・三十一日に「香寶寺第二十一世住職継職法要並びに親鸞聖人七百五十回大遠忌お待ち受け法要」、このたびの後期法要は、長

期計画の集大成として「総追悼法要」を勤修しました。

また、法要前日には、帰敬式が行われ、八十六名が法名を授与されました。

コロナ禍で心配しましたが役員・参拝者合わせて約五百人が出遇い難い尊い仏縁を結ばれました。

また、前門さまも香寶寺への想いを持ってお越しになり、御焼香・御法話を賜りました。

法要に向けて準備を進めている中、思いがけない新型コロナウイルス拡大が起こり、準備委員会を開くことができな

い状況になるなど準備が滞ることが続き、また感染の心配が最後まで気にかかり、無事に法要がお迎えできるか不安の日々を過ごしましたが、組内法中、ご門徒をはじめ携わってくださった多くの方々のお力添えのおかげで無事に勤まることができ、本当に有難いご縁でありました。

帳 楽 憂

香寶寺門信徒総追悼法要
(前門さまご巡教)

寺 香 組 者 伯 取 鳥
成 信 杉 上

編集後記

小学校の教科書を音読する長男。「これ、どうやって読むの？あぶはちとらず！」情けないことに、僕にも分かりません。こんな時はインターネットで検索するのみ。

【蛇蜂取らず】は、「蛇も取らず蜂も取らず」の略語。クモの巣を見て取りに行こうとしたところ、蜂もクモの巣にかかったのので、また蛇の方に行くと蜂が逃げようとす。結局はどちらも捕獲できないことをいう。身に覚えがあり過ぎます…。

「御院家さん。最近、孫と一緒に重誓偈をお勤めしますよ…」ご門徒から聞いて、心温まる瞬間。牛にひかれて善光寺参りならぬ、孫につられてお仏壇参り。いいですねー。核家族化の進む現代社会では難しくなってきた、家庭でのご法義相続。浄土真宗の伝統がお経さまを音読することで守られてきた部分は少なからずありますよね。

音読(おんどく)と恩徳(おんどく)…。コロナ禍の収束と、恩徳讃を声高らかに唱和できる日の到来を心から念じます。(N・Y)